

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生物化学分析検査研究班 提出日：令和 3年 11月 29日 報告者：佐藤 文明

行事種別	基礎講座	行事番号	210007426
開催日	令和 3年 11月 1日 (月) ～ 令和 3年 11月 14日 (日)		
時間	開始	—	終了
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	精度管理【実務編】～押さえるべきポイントは?!～		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	—		
講師	<p>講演 1. 「分析前の精度管理～ピペットの使い方や校正～」 愛知医科大学メディカルクリニック 森部 龍一</p> <p>講演 2. 「管理試料の取り扱い」 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 尾崎 靖将</p> <p>講演 3. 「検体検査の精度管理」 藤田医科大学病院 井上 結以</p> <p>講演 4. 「精度管理の考え方 — 臨床検査における精度管理の考え方および不確かさの考え方 —」 アボットジャパン合同会社 学術情報室 村上 聡</p>		
内容	<p>今回実施の基礎講座は「精度管理【実務編】」をテーマに、講演 1 では、「分析前の精度管理～ピペットの使い方や校正～」と題して、分析前段階における精度管理の根幹となるピペット操作について講演した。講演 2 では、「管理試料の取り扱い」として、精度管理試料の種類や取り扱いについて講演した。講演 3 では、「検体検査の精度管理」と題し、内部精度管理として取り扱う試料、管理図および管理手法について、また外部精度管理として外部精度管理の特徴、参加意義および評価の仕方について、講演した。講演 4 では、「精度管理の考え方— 臨床検査における精度管理の考え方および不確かさの考え方 —」と題し、不確かさやトレーサビリティの考え方を中心に、基礎から応用の部分まで講演した。今回、10月 24日 (日) 開催の基礎講座 (ライブ配信) のオンデマンド配信を行い、当日ライブ配信に参加された会員の復習、および参加できなかった会員向けに広く配信し、多くの会員ご施設における精度管理の見直しのきっかけとなったと考える。今後も最新の知見を配信することで、各施設・会員の一助となれば幸いである。</p>		
参加者	総数：126 名 (愛臨技会員 74 名、県外会員 52 名)		
共催、後援など	なし		